

■ 平成 24 年度以降の取り組みの進捗状況の確認の進め方について

本委員会における議論のより一層の充実を図るため、進捗状況を確認すべき項目の絞り込みを行う。

- 平成 24 年度以降に進捗状況を確認すべき項目は、右表のとおりとする。
- 各年度開始後（5～6 月）及び中間期（11～12 月）に、
 - ① 市において、進捗状況、取り組みの実績をとりまとめ、
 - ② 委員会において、各委員からご意見をいただく。（下図参照）

2 4 年度以降の進捗状況確認の流れ

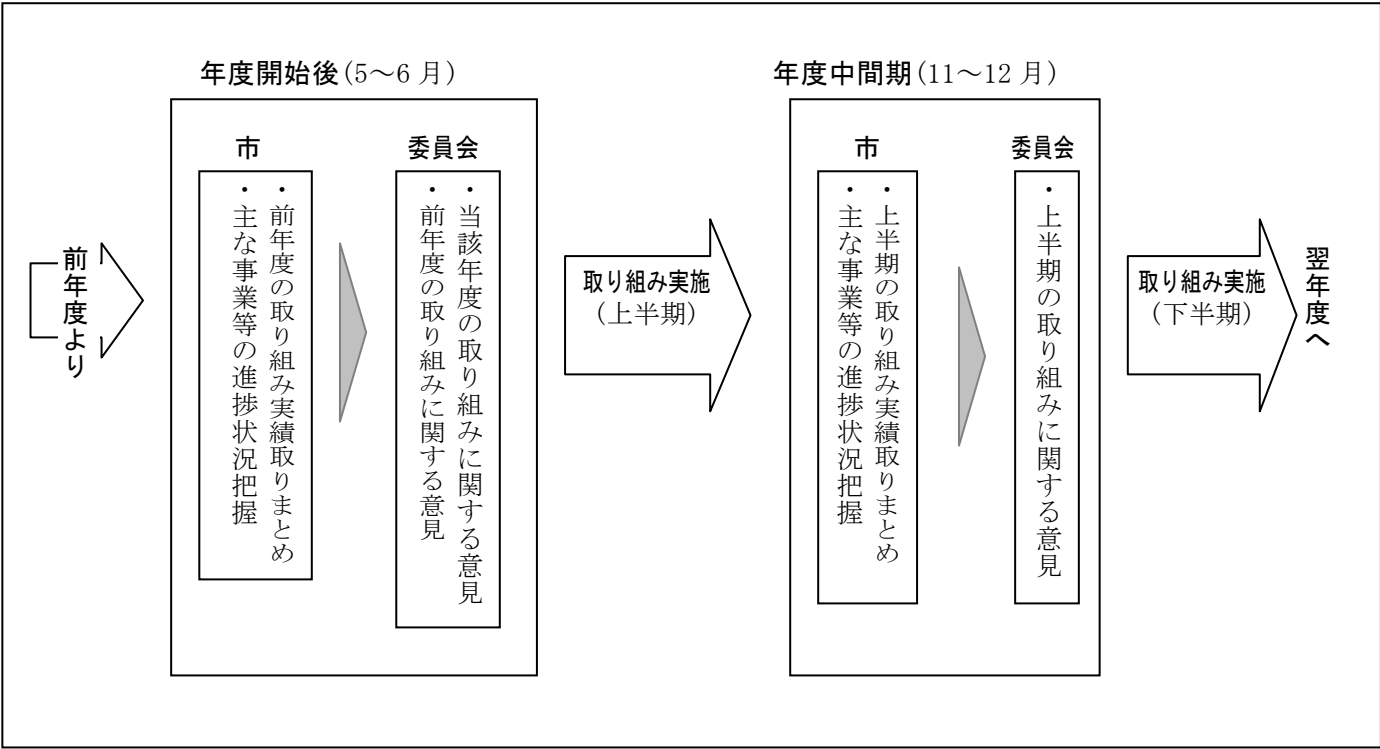


表 24 年度以降の確認項目一覧

■ 目的Ⅰ コミュニティの自治の確立

目標Ⅰ－１ 自治の環境づくり	
コミュニティの自治に向けた環境をつくるため、自治に関する市民の理解促進、コミュニティ活動への参加促進に取り組む	(1)自治に関する市民の理解促進
	① 「コミュニティ通信」を通じた地域情報の発信
	② 「ふくおか市政だより」への記事掲載
	③ 市ホームページの充実
	④ コミュニティが行う広報活動の支援
	(2)コミュニティ活動への参加促進
	① 公民館事業を通じた人材発掘・育成
	② 地域における取り組み事例の紹介【新】
目標Ⅰ－２ 自治の基盤づくり	
校区のまちづくりを担う自治協議会、自治の基礎となる自治会・町内会の活性化・組織強化に向け、コミュニティとともに取り組む	(1)魅力的な自治組織づくりの支援
	① 「住民自治フォーラム」の開催
	② 自治協議会活動の活性化に向けた研修会等の開催や勉強会への協力
	③ 自治協議会との共催による自治会・町内会向けの研修会等の開催【新】
	(2)自治会・町内会加入の促進への協力
	① 集合住宅入居者の自治会・町内会加入の促進への協力

■ 目的Ⅱ コミュニティと市の共働

目標Ⅱ－１ コミュニティと市の対等なパートナー関係の確立	
コミュニティと市の対等なパートナー関係を築くため、市役所を挙げて、職員の意識改革に取り組む	(1)市職員の意識改革
	① 職員研修の実施
目標Ⅱ－２ コミュニティの自治を尊重した施策の推進	
コミュニティが自治のもとで主体的にまちづくりに取り組めるよう、市が各分野で行っている施策の進め方を見直す	(1)コミュニティに関する施策の進め方の見直し
	(2)市からコミュニティへの依頼等の見直し
	① コミュニティへの協力依頼の整理・削減
	(3)区レベルの各種団体のあり方を見直し
	① 区レベルの各種団体のあり方を見直し
目標Ⅱ－３ コミュニティと市の連携の強化	
コミュニティと市の連携強化に向け、「コミュニティの総合窓口」の機能の充実、校区担当職員や公民館による支援の充実を図る	(1)「コミュニティの総合窓口」の機能充実
	(2)校区担当職員を中心としたコミュニティ支援の充実
	(3)公民館と自治協議会等の連携の強化
	① 自治協議会等との連携による効果的・効率的な事業の推進
	② 公民館による自治協議会等のコミュニティ支援の充実